

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 6 部門第 1 区分  
【発行日】令和 6 年 8 月 14 日(2024.8.14)

【公開番号】特開 2023-43373(P2023-43373A)  
【公開日】令和 5 年 3 月 29 日(2023.3.29)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-058  
【出願番号】特願 2021-150956(P2021-150956)  
【国際特許分類】

G 0 4 C 3/00(2006.01)

10

G 0 4 B 43/00(2006.01)

G 0 4 G 17/00(2013.01)

【F I】

G 0 4 C 3/00 K

G 0 4 B 43/00 D

G 0 4 G 17/00 H

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 8 月 5 日(2024.8.5)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

平面視で表面が非導電性の中央部と、前記中央部の外周に設けられた表面が導電性の外周部と、を有する文字板と、

前記外周部と導通し、且つ、裏蓋と導通するケースと、を備えることを特徴とする時計。

30

【請求項 2】

請求項 1 に記載の時計であって、

前記外周部と前記ケースとを導通させる導通部を有することを特徴とする時計。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 に記載の時計であって、

前記ケースは前記外周部と導通する第 1 凸部を有することを特徴とする時計。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の時計であって、

前記外周部と導通する第 1 部材を備え、

前記第 1 部材は前記ケースと導通することを特徴とする時計。

40

【請求項 5】

請求項 4 に記載の時計であって、

さらに、前記外周部と前記第 1 部材とを導通させる導通部を有することを特徴とする時計。

【請求項 6】

請求項 4 または 5 に記載の時計であって、

前記第 1 部材は前記外周部と導通する第 2 凸部を有することを特徴とする時計。

【請求項 7】

請求項 2 または 5 に記載の時計であって、

前記導通部は弾性を有することを特徴とする時計。

50

## 【請求項 8】

請求項 1 ～ 7 のいずれか一項に記載の時計であって、  
前記文字板の非導電性の前記中央部は、塗装膜によって実現されていることを特徴とする時計。

## 【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれか一項に記載の時計であって、  
前記外周部は金属膜を備えることを特徴とする時計。

## 【請求項 10】

文字板に入る静電気は前記文字板の外周部と導通するケースを通り、裏蓋へ流れることを特徴とする時計。

10

20

30

40

50